

昨年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震で被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げます。
被災地の日も早い復興を心より祈念いたします。



トピックス



(1) 「ストレングスエルゴ 240 を用いた脳卒中患者のリハビリテーションに関する研究発表」のご紹介

第42回日本臨床神経生理学会学術大会(2012年11月8日～10日 ヒトの脳科学として:基礎から最前線へ 於:京王プラザホテル)の「シンポジウム S5 脳卒中機能回復と臨床神経生理学」にて、

テーマ「S5-3 新たな治療的電気刺激の機能回復への応用

慶応義塾大学医学部 山口智史 PT、藤原俊之 MD, Ph.D 他」で下記内容のご紹介がありました。

下肢の麻痺の改善方法(ハイブリッドリハビリテーション): 脳卒中患者の歩行機能再建へのアプローチ方法として、①ストレングスエルゴ 240 のペダリング動作(アイソトニック 2~3NM、逆回転)、②歩行中の下肢電気刺激 Patterned Electrical Stimulation (PES)、③経頭

蓋直流電気刺激の3つを複合させることにより、歩行再建のための脳の機能再構成に寄与する可能性が高いことが発表された。発表原文は下記。

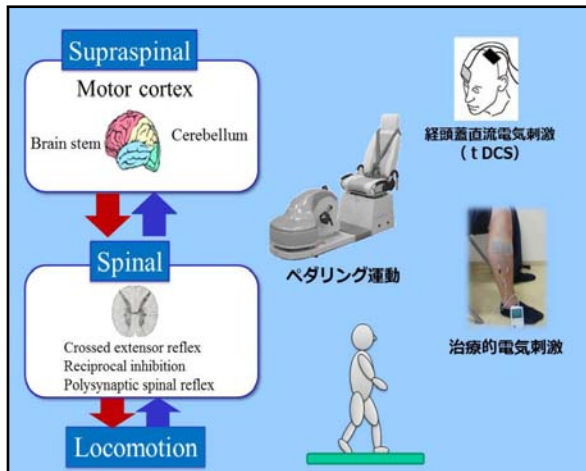


図1 ハイブリッドリハビリテーション

Effects of pedaling exercise on the intracortical inhibition of cortical leg area

Yamaguchi T, Fujiwara T, Liu W, Liu M. Exp. Brain Research 218(3) 401-406 2012

(2) 「ストレングスエルゴ 8 を用いた心疾患患者のリハビリテーションに関する研究発表」のご紹介

① EFFECT OF PASSIVE CYCLING ON SYSTEMIC ENDOTHELIAL FUNCTION IN ELDERLY PATIENTS WITH HEART FAILURE: A PILOT REPORT JACC April 15, 2011, Vol. 57, Iss14, 2011, E626

「内容」 高齢慢性心不全患者におけるアシストペダリングの血管内皮機能へ及ぼす影響の検討

京都大学医学部 小笹寧子 MD. 他 (第60回米国内臓病学会にて発表、2011年4月5日)

27名の高齢心不全患者に対し無作為に2群(受動的ペダル運動群とコントロール群)に割付、血管内皮機能に及ぼす受動的ペダリング効果が在るか無いかをRH-PAT指標を用いて確認し、コントロール群に対して $P=0.05$ で有意に血管内皮機能が改善したことを報告。(servo-dynamically controlled ergometerとしてストレングスエルゴ8をご使用)

② Differences in Hemodynamic Parameters and Exercise Capacity Between Patients With Pulmonary Arterial Hypertension and Chronic Heart Failure

Journal of Cardiopulmonary Rehabilitation and Prevention 2012;32:379-385

「内容」 肺動脈高血圧(PAH)と慢性心不全(CHF)の運動耐容能、血行動態指標の比較

神戸大学医学部 田中秀和 MD, Ph.D、坪井康徳 PT

肺動脈高血圧に対するリハビリテーションに関し、慢性心不全の心疾患のリハビリテーションと比較(運動耐容能、各種血行動態)して、心疾患と同様にリハビリテーションの技術的課題が多いことを明確にする。(20名ずつ計40名に対してストレングスエルゴ8によるCPX等を実施)



あとがき

これからもお役に立てる情報を掲載してまいりますので、
今後も引き続き、ご要望や貴重な情報をお寄せください。

ストレングスエルゴホームページURL: <http://www.mee.co.jp/sales/other/strengthergo/confirm.html>

発行元: 三菱電機エンジニアリング株式会社
名古屋事業所 営業部 業務課(文責 水庫)
〒486-0906 愛知県春日井市下町屋町字下屋敷139
TEL (0568)-36-2096 FAX (0568)-36-2376